【様式第2号】
施設所管部署記入様式

平成29年度　門真市立市民公益活動支援センター　指定管理者総合評価

【評価対象年度】　：平成28年度

施設のサービス水準の視点　コメント

利用者からのアンケート調査からも見受けられるように施設の維持管理に努められており、またサービスの向上に努めている。また、利用率向上に向けた施設の新しい活用方法の検討、利用許可証発行手続のシステム化、相談・セミナーを通じた情報提供により利用者の利便性を図っていると評価できる。
引き続き、利用者のニーズを把握するとともに、広報活動の手法や利便性の向上を図っていくよう努められたい。

収支状況　コメント

既存のものを最大限利用し、全体の支出を抑えた結果、予算額の約15%を削減することができたことは評価できる。貸借料、雑費等が予算額より上回った部分については、当初予定していた印刷機のリース代より高額になったことや定例会等で会議室の使用が多かったため、今後、予算の適切な運営に努められたい。

市による総合評価　コメント

・利用者へのサービスの向上や利便性の向上を図る取組を実施された。引き続き更なるサービス・利便性の向上に努めるとともに、今後の課題である広報活動の手法やセミナー等について実施手法の検討に努められたい。
・収支について、既存のものを最大限利用し、全体の支出を抑えることができたと判断する。
・施設維持管理について、清掃・保守点検を実施しており、修繕においても問題なく実施されたと判断する。

これらのことから概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされていると判断する。

総合評価

B

総合評価区分凡例

A ：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
B ：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
C ：協定事項等の水準以下であった